

# 創業から80年 「信頼の経営」を目指して一歩ずつ

山陽特殊製鋼は1933年に創業して以来、80年という歴史のなかで経営理念である「信頼の経営」のもと、高品質な特殊鋼を安定的に提供するとともに全てのステークホルダーの皆様から信頼いただける企業となることを目指してきました。



おかげさまで、  
創業80周年

1933 山陽製鋼所として創業



1935 山陽製鋼株式会社設立。  
軸受鋼の製造開始

1939 日本政府から軸受鋼  
専門メーカーとして指定

1957  診療所を設置

1959 商号を山陽特殊製鋼株式会社  
に変更

 2000トン熱間押出  
プレス稼働開始

1966  国鉄から新幹線用  
軸受鋼を受注

1970  アッセルミル稼働  
開始

1971  環境管理課(現・環境  
管理部)発足

1973 兵庫県および姫路市と  
「公害防止協定」を締結

1973  60トン2号電気炉  
稼働開始



1980  福利厚生センター完成

1982 第二製鋼工場完成

1983  陸上競技部創部

1986 第二棒線工場完成



1988 金属粉末製造工場および  
金属粉末加工工場完成

1991  超高純度軸受鋼  
(SNRP鋼)を開発

1992  コージェネレーション  
設備稼働開始

1993 「地球環境保全に関する  
行動指針」制定

 山陽特殊製鋼文化  
振興財団設立

1993  品質マネジメントシステム  
国際規格ISO9001取得  
(取得時はISO9002)

1997  SPM活動(TPM活動)  
キックオフ

 環境マネジメントシステム  
国際規格ISO14001取得

 第二製鋼工場連続铸造設  
備で軸受鋼単一タンディッ  
シュによる73チャージ連  
連続(世界記録)達成

1998  ごみ焼却発電ボイラ用鋼  
「QSX5」を開発

2001  環境報告書を当社ホーム  
ページにて公開

2005 CSR室(現・CSR・法務グループ)新設

 電気炉集じん設備の  
能力増強(国内最大級)

 当社電気炉スラグ製品  
が資源循環型の道路  
舗装材に初採用



1933

1973

1993

## CSR経営を通じて「経済的使命」と「社会的使命」を果たす

	経済的使命	社会的使命
 ステークホルダーからの信頼	 特に、高品質で社会に貢献する製品・技術の開発・提供	 地域社会への貢献、従業員支援策など、ステークホルダーとの良好な関係づくり
 環境活動での信頼	 環境負荷低減に貢献する製品・技術の開発、設備の導入	 事業活動における環境保全に向けた取り組み

<p>2006  世界で初めてフェイズドアレイ超音波探傷装置を量産工程へ適用</p>  <p>2007  鍛伸加熱炉へのリジネバーナーシステムの採用</p> <p> 姫路市地域防災貢献事業所として登録</p> <p> 「女性が働きやすい職場づくり」に向けた活動開始(育児・介護支援策等の拡充)</p>  <p> 高強度はだ焼鋼「ECOMAX」シリーズ誕生</p> <p> スラグ製品事業室新設</p> <p>2008  株主向け決算説明会・工場見学会開始</p> <p> トラック輸送から鉄道輸送へモーダルシフトを実施(姫路～秋田間)</p>	<p>2009 姫路市と「環境保全協定」を締結</p> <p> 自由鍛造用加熱炉へのリジネバーナーシステムの採用</p> <p> 加圧式蒸気エージング設備稼働開始</p>  <p> 大形圧延用加熱炉・各種調質炉で重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換</p> <p>2010  多機能分級選別設備稼働開始</p> <p> 「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」受賞</p> <p> 安全体感研修センター完成</p>  <p>2011  押出予熱炉で重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換</p>	<p>2011  5000トン自由鍛造プレス機稼働開始</p>  <p> 小学生向け工場見学会開始</p>  <p>2012  高信頼性長寿命軸受鋼「PremiumJ2」を開発</p> <p> 高機能工具鋼「HARMOTEX」シリーズ誕生</p> <p> 60トン連続鑄造設備稼働開始</p>  <p> 次世代認定マーク「くるみん」取得</p> <p>2013  鍛伸加熱炉で燃料転換と同時にリジネバーナーシステムを採用</p>
--	--	---

2006

2009

2011

2013